

四. 神前審浜（かんざきさにわのはま）はどこにあったのか

庄本町一丁目にある棕橋総社拝殿前には「神前（かんざき）松原遺跡」という石碑（写真）がたっています。これは神功（じんぐう）皇后が三韓征伐の折に神前審浜に猪名の神々を集めて、戦勝祈願なされたという故事によるものです。神前審浜の場所について、住吉神社神代記（じんだいき）に「北を限る公田、西を限る為奈（いな）川、南を限る川、東を限る江尻」と書かれています。猪名川が当時、現在地を流れていたと仮定すれば、神前審浜は庄本の地ですが、古記によれば、猪名川は至徳年間（一三八四～一三八七）ごろに流路が変わったと伝えられています。



「神前松原遺跡」石碑